

# 第7回議会報告会

報告書

令和7年(2025年)1月25日開催

令和7年(2025年)3月28日

京田辺市議会  
広報広聴特別委員会



## 1 はじめに



令和7年1月25日京田辺市立北部住民センター 多目的ホールにて、第7回京田辺市議会議会報告会を開催した。当日は延べ23名(男性18名、女性5名)が参加し、参加者と活発な議論が行われ、多くのご意見をいただいた。

## 2 報告会【第1部】

### 議会報告について



河本隆志議長から開催のご挨拶と定例会の報告を行い、各常任委員会で取り組んでいる所管事務調査について、市民に報告を行った。

質疑応答では市民からは意見が出なかったが、真剣に傾聴していただいた。

### 3 意見交換会【第2部】

各テーブルの様子



Aテーブル



Bテーブル



Cテーブル

第2部の意見交換会では、各常任委員会の所管事務調査のテーマから1テーマずつ取り上げた。それぞれ3つのテーブルに分かれて、各所属常任委員会の議員と市民との意見交換が行われた。

#### Aテーブル「防災士と地域防災力」総務常任委員会 ご意見

- 自主防災組織の実状について(防災士の仕事・活動内容等)
- 大学との連携を進めてほしい(消防団・自主防災組織の参画)
- 防災士の技能向上のための取り組みや市のサポートが必要なのでは。
- 防災士が活動しやすいような環境整備が必要。
- 木津川の氾濫や地震が来た際の避難について知りたい。
- 学校では防災士や自主防災組織について教えてもらえない。
- 段ボールベッドや簡易トイレの数は適正数を用意しているのか。
- 会計任用職員は災害時に来てくれるのか。
- 外国人・障がい者の災害対策の生の声を聞いてほしい(特にトイレ問題)。
- 自治会に入会してくれる人が減少していて、将来的な運営が課題。
- 地域の高齢化が進んでおり、活動が難しくなっている(70代がメインに活動している)。
- 安心まちづくり室の出前講座をより多くの地域で開催してほしい。

Aテーブルでは、「防災士と地域防災力」をテーマに意見交換を行った。市の地域防災の取り組みや地域で抱える課題について、外国人・障がい者のサポート体制の拡充等、様々な意見が出た。

特に地域の高齢化による担い手不足を懸念する意見が多く、大学との連携や市民参画の促進を進めてほしいという声があった。

防災士を取得している市民も参加しており、防災士の技能向上や活動体制の整備について、議論が交わされた。

## Bテーブル「特別支援教育」文教福祉常任委員会 ご意見

- 特別支援教育支援員として働いている間に感じたこととして、父親が子育てに関わっている事が少ないと感じる。もっと積極的に表にでて関わっていくべきであり、教育環境の改善が必要。
- 担任の教員は適度に入れ替わる方が良い。その点に関して、大住小学校では、適度な人事がなされている。
- 特別支援教育の担任に必要な資格はあるのか。
- 就学相談の状況はどうか。
- 学校が終わってからの預かり施設などの現状が知りたい。
- マンモス校対策について。
- 支援学校へ通っている人数は市内で何人いるのか。
- 校内フリースクールのように、特別支援学級と普通学級の間のような学級があれば、障害のあるなしにかかわらず交流もでき、特別支援学級に行くのがかいいのかわからない程度の子どもも負担なく通学できるのではないか。
- 学校内に児童生徒の居場所となる場所があればいいと思う。
- 地域と教育現場の希薄化が進んでおり、子どもたちの居場所づくりと同時に、地域の高齢者の居場所づくりも大切。様々な年齢層に対する、孤独・孤立対策が必要。
- 自分がやってきたからということもあるが、特別支援教育支援員制度を充実することが重要

Bテーブルでは、「特別支援教育」をテーマに意見交換を行った。市の特別支援学級の取り組みや市内の教育環境について等、様々な意見が出た。

特別支援教育支援員として働いている市民も参加しており、現場の声や特別支援教育支援員制度の拡充について、議論が交わされた。

## Cテーブル「バスの利用促進」建設経済常任委員会 ご意見

- 本数、回数が少ない。料金、運賃が高い。
- バスとバス、バスと鉄道等乗り継ぎの連絡が悪い。
- バス会社に補助金を増やしても運転手が少ないと減便、廃止になってしまうのではないか。
- 買い物に行くにも、帰りなどの時間にバスがない。
- バスの回数が少ない。週に何回か乗るが料金が高い。
- 買い物に行くのに近所の人もみんな困っている。
- 仕方なくタクシーを利用している人もいる。料金大変。
- 病院や市役所に行くにも補助が欲しい。
- すぐにカードが出ないで困った、両替機を主要駅においてほしい。
- 介護での送迎バスの乗り合いが可能になった。乗り合いバスを考えては。
- バスのアナウンスの後にコマーシャルを入れては。収益につながる。
- バス停に屋根、ベンチをつけてほしい。
- 時刻表、バス路線について利用者の利便性を考えて
- QRコードで読み取ることになっている。QRコードを大きくしてほしい。
- QRコード自体を読み取れていない人が多い。
- 行き、帰りの時に時刻を写メしておく工夫をしている。
- バス会社に乗り継ぎ表を発行してほしい。
- 運転手不足でなんでも済ましている。
- 15分間隔など便数を増やしてほしい。
- 乗り継ぎの路線は特に残してほしい。
- 京阪の言いなりになっているのではないか。
- アマゾンの送迎バスなども活用できないのか。
- バス停表示をわかりやすくしてほしい。団地のバス停。
- 小さくこまわりのきくバスが利用できないのか。
- バスの利用が不便で、高くてもついタクシーを利用する。
- 京田辺市として、まちづくりの中に位置づけて考えていくべき。
- 乗ってもらう人が、どのぐらい増えれば便数が増えるのか。

Cテーブルでは、「バスの利用促進」をテーマに意見交換を行った。本市の課題の1つであるバス交通に対する環境整備、問題解消に向けた取り組みについて様々な意見が交わされ、多くの要望が出た。若い方から高齢者まで参加層も広く、住み続けたいと思えるまちづくり、新たな支援やサービスの拡充等について多面的な角度から意見が出た。

## 4 総括



今回の議会報告会は、議会報告を簡潔にし、情報交換に重点を置いて開催した。

昨年と同様に、12月1日発行の議会だよりで告知を行い、本市の主要な公共施設でポスターを掲示し、チラシを配布した。また、議会のFacebookでもお知らせし、多くの市民に報告会の開催を知っていただく取り組みを行い、その結果、23名の市民に参加していただいた。

第2部の意見交換では、各常任委員会が調査研究を進めている所管事務調査の内容をテーマとした。市民からの意見は具体的かつ有益であり、今後の議会活動に大いに活かされると考える。

これらの意見は、議会が市民のニーズや期待に応えるための重要な情報源である。今後も、市民との意見交換の場としての議会報告会を工夫して開催していきたい。

具体的には、報告会の内容や形式を見直し、さらに多くの市民が参加しやすい環境を整えることなどである。

また、広報活動の強化や意見交換の方法の改善にも努めたい。

(別紙)

## 議会報告会アンケート結果 集計 (19名)

(参考)

- 来場者数 23名 (男18:女5)
- ・総務 10名 (9:1)
  - ・文福 4名 (3:1)
  - ・建経 9名 (6:3)

=====

アンケート集計

○提出者数 19名

1. 議会報告会の開催について、何でお知りになりましたか？(複数回答あり)

- |                |        |
|----------------|--------|
| (1) 議会だより      | 11名    |
| (2) 市議会ホームページ  | 1名     |
| (3) お知らせチラシ    | 5名     |
| (4) 市議会フェイスブック | 2名     |
| (5) その他        | 3名     |
| ・知り合いから教えてもらった | (1名)   |
| ・家族から          | 〃 (1名) |
| ・議会事務局長から      | 〃 (1名) |

2. 開催日時・開催会場についてはどうでしょうか？

- |              |     |
|--------------|-----|
| (1) これで良い    | 14名 |
| (2) 変更した方が良い | 1名  |
| (3) 未回答      | 4名  |

【意見】(原文まま)

- ・(未回答) 土曜日はバスの本数も少ないし、会場まで来るのが不便ですが、平日はお仕事があるので無理だし、寒い時期ではなく暖かい時に夜の開催はどうか？
- ・(未回答) 声が聞こえやすいように机の配置を工夫する。隣のグループの音が漏れ聞こえないようにセパレーションを立てるなどの工夫があれば良い。
- ・(良い) もう少し時間延長して頂きたい。
- ・(良い) 文教福祉委員会参加者。特別支援教育。今後、地域に居場所を

つくるべき。不登校ひきこもり支援など。

- ・(変更) 若い人が参加しやすいように土・日も設定してほしい。マイク導入。2時間は必要と思います。
- ・(未回答) もっと多くの市民の参加があればと思う。折角の機会なので年1回でなくもっと回数増(例 半年ごと)
- ・(良い) 開催日時、開催会場についてはOKであるが、会議の分科会は小会議室に設定された方が、気が散らないのではないか。小会議室に別々に開催されれば最良であると思います。

3. 本日の議会報告会に参加しての感想は?

- |          |    |
|----------|----|
| (1) 満 足  | 8名 |
| (2) やや満足 | 7名 |
| (3) やや不満 | 3名 |
| (4) 不 満  | 1名 |

【意見】(原文まま)

- ・(や不) 発言者のおっしゃる事が聞こえない所が多かったために不満を感じました。
- ・(や満) 提言されている内容の効果があまり見えない
- ・(や満) 自助災害発生日より3日~7日間の必要備品としてトイレの問題を早急に整備する必要とする。
- ・(満足) ご苦勞でした。
- ・(や不) 人数を少なく(グループ分け)テーマを(防災の中で)しぼっては?
- ・(満足) 近りん市町村を見てもこの種の会議は皆無ではないか。京田辺市は議会と住民が同じ目線で会議を持つ事はまれに見る物ではないか。

4. 「議会だより」をご覧いただいていますか?

- |               |     |
|---------------|-----|
| (1) よく読んでいる   | 10名 |
| (2) ときどき読んでいる | 5名  |
| (3) あまり読んでいない | 2名  |
| (4) 読んだことがない  | 0名  |
| (5) 未回答       | 2名  |

【意見】(原文まま)

- ・(よく) 傍聴もしますが自分一人の時もあり、自分の選んだ議員さんがどんな活動しておられるのか市民に知ってほしいと思います。
- ・(とき) 開会あいさつで「議会の様子はHPやSNSでえつらnder」

とありますが、障害者・高齢者等災害弱者は使えません。他のツール考えてほしい。

5. 年代、お住まいの地域をお聞かせください

(1) 10代	2名
(2) 20代	0名
(3) 30代	0名
(4) 40代	2名
(5) 50代	1名
(6) 60代	3名
(7) 70代以上	11名

【お住まい】

(1) 松井ヶ丘小学校区	2名
(2) 大住小学校区	4名
(3) 桃園小学校区	3名
(4) 薪小学校区	0名
(5) 田辺小学校区	4名
(6) 田辺東小学校区	3名
(7) 草内小学校区	1名
(8) 三山木小学校区	1名
(9) 普賢寺小学校区	0名
(10) 市外	0名
(11) 府外	0名
(12) 未回答	1名

6. 自由記載欄（原文まま。○と●の区分で異なる方の意見）

- 最初に報告を聞いて、後から意見交換会との流れだと思っていたので、最初からブースを選ばなければならず戸惑ってしまいました。チラシに事前に「入場時にテーマを選んで頂きます」等の案内があればスムーズだったかと思えます。報告を減らして意見交換の時間を、という方向に進めて頂いたことは有難く感じました。意見交換時は話しやすい雰囲気にして頂き、心配りいただきありがとうございました。
- 通勤通学で利用する人たちと、その他の利用する人と必要な便数が異なると思います。別けて足の便どうしたらいいか考えてほしい。バス停近くの公民館まで歩くのも大変という人もでてきている。外に出ずひきこもる人が増えるという問題がさらに大きくなると思います。

(別紙)

- 京田辺市で防災士の資格取得者は京田辺市社会福祉協議会の災害ボランティアに登録を促進して頂きたい。震災洪水等の大災害時に於いて、京田辺市民全員に携帯トイレを常時保管出来る事にする。紙オムツでも対応出来る(健常者を含む)。京田辺市民全員1人に1個のトイレが必要です。
- 会議参加の用意もなしに飛び込みで参加をさせていただきました。貴重な経験をさせていただきました。民主的な議会運営が垣間見たと思います。継続的開催をせつにお願い致します。